

## 入院診療計画書 持続型 G-CSF 製剤で末梢血幹細胞採取を受けられる方へ

血液内科 (11 階西) 病棟 ( ) 号室 氏名 ( @PATIENTNAME 様)

病名・症状 (末梢血幹細胞移植ドナー) 入院目的(末梢血幹細胞採取) 推定される入院期間(約 3 日間) 特別な栄養管理の必要性：有・無

経過	入院日 /	採取 1 日目 /	採取 2 日目 /	退院日 /
達成目標	●採取に対する不安がない。 ●薬剤を使用し疼痛がコントロールできる。 ●治療に伴うその他の副作用症状がない。			
手術処置検査	●毎日検温を行います。		●採取日の朝 6 時～8 時に採血があります。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●カテーテルの穿刺部位に痛み止めの貼付薬を 7 時に貼ります。</li> <li>●採取は 10 号館 5 階の採血室で 3～5 時間かけて行います。9：20 着で 10 号館 5 階の採血室へ移動していただきます。場所は病棟の看護師が案内します。</li> <li>●採血室で、体温、血圧を測り心電図モニターをつけます。</li> <li>●通常両腕に採血用と返血用のカテーテルを挿入します。血管確保が難しい場合は、足の付け根の血管にカテーテルを挿入する場合があります。</li> <li>●採取中は、低カルシウム血症によるしびれを予防するために、カルチコール（カルシウム製剤）の点滴を行います。</li> </ul>	
安静度	●制限はありません。		●採取中はリクライニング式の椅子に座り採取をします。頭と足の角度は調整できますが、立ち上がったたり移動することはできません。また、両肘にカテーテルが入っているため両肘を曲げることができません。	
食事	●制限はありません。			
清潔	●入浴・シャワー ●爪を切り、マニキュアをつけている方はとってください。			
排泄	●制限はありません。		●採取前にトイレを済ませてください。採取中の排泄は、尿器などで介助させていただきます。	

